

令和6年度 大東小学校関係者評価書(最終評価)

観点	重点目標	方策手立て等	評価指標	自己評価		学校関係者評価	
				目標別	総合	評価	コメント
『健』（体育）	1 基本的な生活習慣を身に付けた児童の育成	くすのきっこカードを活用した早寝・早起き・朝ごはんの定着を図る。	早寝・早起きをし、朝ごはんを食べて登校する児童（アンケート）	3.0	3	3	○よく定着が図られている。今後の継続指導を期待する。
		参観日などを活用し、家庭と連携した正しいメディアとの接し方の定着を図る。	メディアの約束を守る児童（アンケート）				○基本的な生活習慣を身に身に付けさせるには保護者の意識を高めていかないといけない。ノーメディアデーの取組と平日のメディアの時間制限は必要、家庭と連携して取り組んでほしい。
		チャイム着席など、日々の指導による時を守る意識の定着を図る。	時を守る児童（アンケート）				
	2 発達段階に応じた体力づくりの推進	体育科授業の充実、スクールスポーツプランに基づく取り組みの継続的な実践を行う。	体育の時間に一生懸命運動する児童（アンケート）	3.4	3	3	○体力づくりや安全指導など、よく定着が図られている。今後の指導を期待したい。
		日常的な外遊びや季節に合った運動等をとおした、運動習慣の定着と体力の向上を図る。	晴れた日は外に出て遊ぶ児童（アンケート）				○家庭では外遊びの機会が減っているので、体力づくりや外での活動に力を入れているのはよい。
		集団指導と個の目標に応じた指導をバランスよく行い、最後までねばり強くやり遂げようとする、たくましい心身の育成を図る。	体力向上のための運動に最後まで取り組む児童（アンケート）				○児童のむし歯の治療は進んでいるのか知りたい。
	3 日常的な保健・安全指導の充実	健康診断の結果に基づく指導をとおして、健康に関心をもち、すすんで治療しようとする態度を養う。	自分の体のことを知り、受診の必要などを進んで治療する児童（むし歯治療率）	3.3	3	3	○性に関する知識について誤った活用をしている児童の様子が見られる。今後も性に関する教育など引き続き取り組んでほしい。
		性教育や栄養指導等をとおして、生命や健康を自ら大切にしようとする態度を養う。	生命を尊重しようとする児童（アンケート）				
		交通安全教室及び日常的な通学指導をとおして、交通ルールを守り、自分の命は自分で守ろうとする態度を養う。	交通安全を守って登下校しようとする児童（アンケート）				

観点	重点目標	方策手立て等	評価指標	自己評価		学校関係者評価	
				目標別	総合	評価	コメント
『正』（知育）	1 望ましい学習習慣の定着	「学びの約束」を徹底し、授業を大切にする意識を高める。	授業の準備をきちんとし、チャイム黙想をする児童〈アンケート〉	3.2	3	3	○授業を参観すると、じっとできない児童が多いよう感じる。
			話を聞くときは、立腰の姿勢で静かに最後まで聞く児童〈アンケート〉				○学習が成立していない学級の状況を耳にする。この問題を解決するには、学校の教育力だけでなく、家庭、地域の教育力を高めていく必要がある。今後も職員のチームワークを大切にし、諸機関とも連携して取り組んでほしい。
			質問には、はっきりと返事や反応を返す児童〈アンケート〉				○コミュニケーション能力をどう高めていくのかが大切だと考える。授業以外の様々な場面での学びも大切にしてほしい。
			ノートを素早くていねいに書く児童〈アンケート〉				○BBTの取組は続けてほしい。
			印を付けたり、図や絵を描いたりして、問題を正しく理解する児童〈アンケート〉				○読書については、図書室の充実が図られている。本の面白さに気付くよう仕向けていく必要がある。
	2 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着	めあてとまとめの整合、学年の発達段階に応じた協働的な学びの推進等の授業改善をとおして、児童に「わかったこと」「できるようになったこと」を実感させる。	授業がわかった、できたと実感できる児童〈評価テスト〉	3.3			○子どもたちは、地元愛を感じているようなので、地域を学ぶ取組を続けてほしい。
			ICTの活用等をとおして基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。				
	3 望ましい読書習慣の確立	授業や「家読・ノーメディアデー」を活用し家庭と連携した読書活動を推進することで、望ましい読書習慣を身に付けさせる。	目標冊数を読む児童 (目安として 低…100冊 中…80冊 高…60冊) 〈読書の記録〉	2.7			
	4 郷土に誇りと愛情をもつ児童の育成	地域のひと・もの・ことについて学ぶ授業や活動をとおして、郷土愛を深めるとともに、地域のために何ができるかを自ら考えて実践しようとする態度を養う。	串間や大東のことが好んで地域に貢献できる児童〈アンケート〉	3.3			

観点	重点目標	方策手立て等	評価指標	自己評価		学校関係者評価	
				目標別	総合	評価	コメント
『和』（德育）	1 規範意識をもち、礼儀と感謝を大切にする心と態度の育成	「大東小の当たり前」の指導をとおして、集団の中で誰もが過ごしやすい学校をつくろうとする態度を養う。 異学年交流をとおして、望ましい言動をはじめとする礼儀や感謝の心を育てる。	大東小学校の当たり前が守れる児童〈アンケート〉 廊下の右側を歩く児童〈アンケート〉	3.0	3	3	○とてもよく頑張っている。 ○「大東小の当たり前」は家庭でも使えるのではないか。家庭へも紹介し、家庭でのしつけとして活用し、大東の子ども達を育ててほしい。
			自ら進んであいさつや感謝の言葉を使うことのできる児童 〈アンケート〉 無言で掃除をする児童〈アンケート〉				○互いの考えを伝え合い、認め合うことが難しいことであるが、頑張ってほしい。
	2 互いに認め、高め合うことができる児童の育成	道徳科の授業をとおして、人権意識を高める指導を行うとともに、いじめの早期発見・早期解決に努める。	「さん」をつけて名前を呼ぶ児童〈アンケート〉 誰とでも同じように仲良くする児童〈アンケート〉 いじめ(意地悪や悪口を含む)をしない児童〈アンケート〉	3.1	3	3	○児童のコミュニケーション能力を高めていくことが必要である。
	3 生徒指導の三機能（自己存在感・共感的人間関係・自己決定の場）を生かした教育活動の推進	委員会活動や学級における話合い活動等をとおして、互いの意見を尊重する意識を高めるとともに、自分たちが決めたことに責任をもって意欲的に取り組もうとする態度を育てる。	当番や委員会の仕事を主体的にする児童〈アンケート〉 かかとをそろえ、靴を並べる児童〈委員会調査〉				○児童が自分のことが好きで、将来の夢があることは素晴らしい。

観点	重点目標	方策手立て等	評価指標	自己評価		学校関係者評価	
				目標別	総合	評価	コメント
学校のチーム力の向上	1 小・中・高一貫教育、保小連携、小小連携の推進	「くしま学」を中心とした取組、複数校による合同行事や集合学習、合同研修の推進と充実に努める。	近隣の保育園や小学校と連携して教育活動に取り組む学校〈アンケート〉 市内の中学校、高等学校と連携して串間の人づくりに取り組む学校〈アンケート〉	3.2	3	4	○大東地区のことを理解し、大東小の児童のために、校長先生を中心に先生方が努力される姿に感謝している。 ○地域の保育園等とさらに連携を深めてほしい。
	2 家庭・地域との連携・協働推進	保護者をはじめ地域人材の効果的な活用と地域素材の教材化を図るとともに、地域と学校が協働して児童の学びや成長を支える教育環境づくりの推進を図る。	地域と連携して教育活動に取り組む学校〈アンケート〉				○150周年の取組・式典は素晴らしい。
		ホームページの更新や学校だよりの発行、オープンスクールの実施等による積極的な情報発信により開かれた学校を目指す。	積極的に情報発信をする学校〈アンケート〉				
		学校評価をカリキュラムマネジメントに生かす。	前年度の学校評価を生かす学校〈教育課程〉				
	3 関係機関との連携推進	PTAをはじめ地域・市・県の関係機関との連絡を密にし、必要な事案に対して早期に対応できるよう、連携の推進に努める。	PTAをはじめ地域・市・県の関係機関との連携を図る学校〈アンケート〉	3.2			
	4 コンプライアンスの推進	服務規律の徹底と定期的な職員研修の充実を図り、家庭・地域からの信頼に応える教育活動を開する。	地域から信頼される学校〈アンケート〉	3.2			